

預かり保育

長時間保育

ねらい

- 預かり保育での生活の中で必要なことや身の回りの簡単なことを自分で行おうとする。
- 秋の自然や冬の季節の事柄を取り入れ、生活や遊びを楽しむ。
- 保育者や友達と関わりながら、自分のやりたい遊びを楽しむ。

- 長時間保育での生活の中で必要なことが分かり、身の回りの簡単なことを自分で行おうとする。
- 秋の自然や冬の季節の事柄を取り入れ、生活や遊びを楽しむ。
- 保育者や友達と関わりながら、自分のやりたい遊びを楽しむ。

内容・活動等

- 預かり保育室での身支度、間食の準備・片付けなどが分かり、自分でできることをやってみる。
- 防寒具の扱いや戸外から戻った後の手洗いやうがいなど、冬の生活に必要なことを知る。
- 自然物を遊びに取り入れて遊ぶ。
- 戸外で体を動かして遊ぶ。
- 自分の気に入った玩具や遊びを見つけて、やりたい遊びを楽しむ。
- その日に預かり保育を利用している友達に親しみを持ち、関わる。
- 保育者に親しみを持ち、一緒に遊んだり、困っていることを伝えたりする。

- 挨拶、身支度、間食の準備・片付けなどに、自分から取り組もうとする。
- 防寒具の扱いや戸外から戻った後の手洗いやうがいなど、冬の生活に必要なことを知る。
- 生活に必要なことを自分でやろうとする。
- 自然物を遊びに取り入れて遊ぶ。
- 戸外で体を動かして遊ぶ。
- 自分の気に入った玩具や遊びを見つけて、やりたい遊びを楽しむ。
- 保育者や友達に親しみを持ち、一緒に遊ぶ。

◇ 環境構成

- ◆ 身の回りのことに取り組む場面では、自分のことを自分でできる時間やスペースを確保し、幼児が主体的に取り組めるようにする。
 - ◆ 必要に応じて暖房や加湿器を使用したり換気したりして、温度や湿度を管理し、健康に過ごせる環境を整える。
 - ◆ 防寒具の扱いや手洗い・うがいなどの手順とその必要性を伝えるため、分かりやすいイラストや写真などを掲示する。
 - ◆ 秋の自然に関わるもの（落ち葉やどんぐり）や年末年始の行事に関連するものを幼児が作れるコーナーを準備するとともに、作ったものを飾ることで季節感を感じながら過ごせるようにする。
 - ◆ 日没が早くなり、室内で過ごす時間が長くなるので、人形遊び、絵本など一人や少人数でもゆったり過ごせる遊びを提示する。
- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ◇ 遊びに必要な物を作る際に、日中の教育活動の経験やこれまでの預かり保育での経験を踏まえ、材料や素材を用意する。 ◇ 一人一人がやりたい遊びを見つけ、落ち着いて遊ぶことができるように、道具の種類や量に配慮する。（ボール遊び、ぼっくり、フープ、カードゲーム、パズル、こま） ◇ 簡単なルールの鬼遊び等を設定し、体を動かしながら保育者や友達と関わって遊ぶことを楽しめる場面を作る。 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 遊びに必要な物を作る際に、日中の教育活動の経験やこれまでの長時間保育での経験を踏まえ、材料や素材を用意する。 ◇ 寒くなる時期であるが、日没前に戸外に出て体を動かして遊ぶ時間を設けるとともに、簡単な集団遊びやボール遊びを提示し、友達と一緒に体を動かす楽しさを味わえるようにする。 |
|--|--|

預かり保育

長時間保育

☆ 保育者の援助	<ul style="list-style-type: none"> ★ 上着の着脱など難しいところは手を貸しながらも、生活に必要なことを自分でやろうとする姿勢を認める。 ★ 感染症予防のために、手洗いやうがいの大切さを伝え、保育者がモデルとなって示す。 ★ 気温の変化や体調に合わせた衣服の調整に配慮する。 ★ 冬季休業中の保育は、教育活動がある時と流れが異なるので、そのことを丁寧に知らせ、幼児が安心して過ごせるようにする。 ★ 幼児が安定して教育活動後の生活に向かうことができるように、一人一人を丁寧に受け入れる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 幼児の疲れ具合をよく見ながら緊張感を受け止め、リラックスして過ごせるようにする。 ☆ その日の友達関係の中で、関わったり一緒に遊んだりする楽しさを感じられるよう、保育者が仲立ちをするなどの援助をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 気の合う友達と関わったり一緒に遊んだりする楽しさを感じられるよう、保育者が仲立ちなどの援助をする。 ☆ 時にはみんなで一緒に遊ぶ遊び（転がしドッジボール、鬼遊び等）を投げ掛け、保育者や友達に親しみをもてるようにする。

△ 保育者間の連携	<ul style="list-style-type: none"> ▲ それぞれの時間帯で使っている教材や楽しんでいる遊びを紹介するなど、それぞれの保育について情報を交換し、参考になることを保育に取り入れる。 ▲ 気候の変化に伴い、体調を崩しやすい時期であるため、一人一人の体調の変化に留意し、保育者間で情報を共有する。 ▲ 夕方になると一日の疲れも見られるので、保育者間の連絡を密にし、幼児が安全に遊べるように見守る。 ▲ 個人面談の前には、事前にその幼児の成長と課題について、保育者間で情報を共有し、保護者に伝える内容を整理する。 ▲ 個人面談終了後は、保護者と話した内容を、保育者間で共有し指導に生かしていく。 	
		△ 冬季休業中の過ごし方（持ち帰る物、大掃除の方法、異年齢交流など）を保育者間で話し合う。

□ 保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 個人面談を設定し、遊びの様子や友達との関わりの中で変容した幼児の姿を伝え、成長を喜び合う。 ■ 手洗いやうがいなど冬の健康に関する生活習慣について、園の取組を伝えるとともに、家庭にも協力を求め、習慣の定着を図る。 ■ 外遊び用の上着や日常的に使う防寒着は、動きやすく、幼児が自分で扱うことができる物を用意してもらうように依頼する。 ■ 感染症が流行する時期であるため、体調の変化が見られた時は詳細を伝えて注意を促す。 ■ 感染症に罹患した場合は、「出席停止の扱い」「登園許可証の提出」などについて伝えて協力を求める。
-----------	--

預かり保育

長時間保育

ねらい

- ◎ 進級に期待をもち、預かり保育での生活に必要なことを自分で行うとする。
- ◎ 戸外で体を動かして遊んだり、季節の遊びを楽しんだりする。
- ◎ 保育者や友達との関わりの中で自分の思いを出しながら遊ぶことを楽しむ。

- ◎ 進級に期待をもち、身の回りのことや生活に必要なことを自分から進んで行う。
- ◎ 友達と一緒に遊ぶ中で、体を動かして遊んだり、簡単なルールのある遊びを楽しんだりする。
- ◎ 保育者や友達との関わりの中で自分の思いを十分に出して遊ぶことを楽しむ。

内容・活動等

- 預かり保育での基本的な生活の仕方が分かり、自分でできることを自分で行う。
- 手洗いやうがいなど冬の生活に必要な習慣が分かり丁寧に行く。
- 様々なことをできるようになったことを実感し、自身の成長を感じる。
- 季節ならではの遊び（正月遊びなど）や戸外での遊びに興味をもつ。
- 寒くても戸外に出て、保育者や友達と一緒に簡単なルールに沿って体を動かすことを楽しむ。
- 同じ遊びをする友達に親しみをもち、一緒に遊ぶ。
- 自分が思っていることを言葉や動きで表しながら遊ぶ。

- 長時間保育での基本的な生活に自分なりの見通しをもち、自分でできることを自分で行う。
- 手洗いやうがいなど冬の生活に必要な習慣が分かり丁寧に行く。
- 様々なことをできるようになったことを実感し、自身の成長を感じる。
- 友達と一緒に、季節ならではの遊び（正月遊びなど）に興味をもち、参加する。
- 寒くても戸外に出て、保育者や友達と一緒に簡単なルールに沿って体を動かすことを楽しむ。
- 友達が行っていることに興味をもち、イメージや遊び方をまねて遊ぶ。
- 簡単なルールを理解して遊ぶ。
- 異年齢児や友達が行っていることに興味をもち、一緒に遊ぶ中で親しみをもつ。
- 気の合う友達との遊びの中で、自分が思っていることを言葉や動きで表しながら遊ぶ。

- ◆ 進級に向けた活動や行事等により疲れも予想されるので、必要に応じて休息がとれる場を設ける。
- ◆ 教育活動での保育内容や日没時間等を考慮しつつ、戸外で遊ぶ時間を確保する。
- ◆ 日中に取り組んだ遊びを繰り返し楽しめるように、遊具等を用意する。（正月遊び、フープ、ぼっくり、ボールなど）

環境構成

- ◇ 幼児の様子を見ながら、戸外での遊び（ぼっくり、ボール）や巧技台遊びなど体を使った遊びを個々に楽しめるようなコーナーを設置する。
- ◇ （簡単なけん玉やこまなど）少人数や一人で遊べる正月遊びなどを用意し、季節の遊びに興味をもてるようにする。
- ◇ 幼児の主体的な遊びが促されるように、預かり保育を利用する幼児が今までに楽しんできた遊びを振り返り、遊具を選び、用意する。

- ◇ 幼児の様子を見ながら、戸外での遊びや巧技台遊びなど体を使った遊びを友達と一緒に楽しめるようなコーナーを設置する。
- ◇ 4・5歳児のこま回しや縄跳びなどの様子を見るなどの関わりがもてるような場を構成する。
- ◇ 異年齢児と関わることを楽しめるような遊びを取り入れ、共通の場を設けたりルールを工夫したりする。
- ◇ 気の合う友達同士で遊び、自分の思いを出すことができるように、ござやつい立てなどを自由に使えるようにしておく。

預かり保育

長時間保育

☆ 保育者の援助	<ul style="list-style-type: none"> ★ 幼児が自分から必要なことに気付きやってみようとする姿勢や、できなかったことができるようになった姿を認め、進級する気持ちへつなげていく。 ★ (だるまさんが転んだ、おおかみさん今何時など) 簡単なルールの集団遊びなどを投げ掛けて、友達と一緒に体を動かす遊びが楽しめるようにする。 ★ 異年齢同士で遊ぶ場では、保育者が遊びに加わり、ルールや遊び方を知らせたり、難しいところを手伝ったりしながら楽しく遊べるように援助する。 ★ やりたい遊びに取り組む中で、個々に楽しんでいることに共感し、思いを受け止める。 ★ 友達との遊びの中で、自分の思いや考えを表現できるように励ましたり代弁したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 幼児が安定して長時間保育での生活に向かうことができるように、一人一人と丁寧に挨拶や会話を交わしながら受け入れる。 ☆ 幼児が進級後の生活に期待や見通しをもつことができるように、4歳児の様子を話題にする。
	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 幼児が気持ちを切り替えて預かり保育での生活に向かうことができるように、一人一人と丁寧に挨拶や会話を交わしながら受け入れる。 ☆ 幼児が進級後の生活に期待や見通しをもつことができるように、4歳児の様子を話題にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 幼児が安定して長時間保育での生活に向かうことができるように、一人一人とキンシップを図りながら丁寧に受け入れる。 ☆ 幼児が進級後の生活に期待や見通しをもつことができるように、4歳児の生活の様子を話題にしたり、4歳児の保育室と一緒に見に行ったりする。

△ 保育者間の連携	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 生活発表会に向けた活動や、お別れ会の準備など、進級に向けた活動が入ってくるので、疲れや興奮が見られる幼児も予想される。学級担任は教育活動の様子を丁寧に伝える。 ▲ 感染症が流行する時期であることを踏まえ、幼児の体調については、特に細かく引継ぎを行う。また、各クラスの状況(罹患者数など)の情報を共有する。 ▲ 一人一人の幼児の成長と課題について、保育者間で話し合う機会をもち、共通理解をした上で次年度に引き継ぐ。
-----------	--

□ 保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生活発表会に向けた取組、お別れ会の準備など進級に向けた取組など、この時期ならではの活動について、口頭や掲示で知らせる。 ■ 感染症の発生状況や手洗い、うがいなどの予防の大切さを知らせるとともに、家庭でも体調の変化に留意してもらうように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> □ その日の幼児の姿から、成長を感じたことを具体的に伝え、進級に向けて成長の喜びを共有する。 □ 進級に向けて不安や期待を受け止め、話を聞いたり、4歳児クラスでの過ごし方を伝えたりして、安心感をもって進級を迎えられるようにする。 □ 進級に向けて、生活の仕方が変わることなどを、分かりやすく掲示したり説明したりする。 □ 一年間の園への理解、協力に対するお礼を伝えたり、進級に向けて生活を見直してもらったりする。 □ 幼児の成長の姿を具体的に知らせ、ともに成長の喜びを共有する。
-----------	---	---